

神奈川県立金沢養護学校



学校だより

第156号 令和2年3月26日

桜の開花も始まり、「春」を実感する季節となりました。本来ならば新しい年度に向けたワクワクした気持ちでこの時期を迎えるのですが、先の見えない不安な思いはなかなか拭うことはできません。とは言っても、この時を我慢の時と捉え、今後の学校再開に向けた準備をしっかりと整えていきたいと思えます。



そして、学校の臨時休校が続く中、保護者の皆さま、関係機関の皆さまのご理解とご協力に感謝申し上げます。

～ 卒業生のみなさん、卒業おめでとう ～

さて、3月には、臨時休校が続きましたが、3月13日（金）には高等部、3月19日（木）には小学部と中学部の卒業式が行われました。両日とも天候に恵まれ縮小の形ではありましたが、卒業証書授与の時間を持てたことに感謝いたします。

卒業式の中では「自分らしく歩いていこう（校歌の一節です）」「感謝のことはを忘れない」といった話をさせていただきました。特に高等部の卒業生は、学校から社会へ巣立っていきます。自分らしさを忘れず、常に感謝の姿勢を忘れず、大人として一步一步を着実に歩いていってほしいと思えます。

～学校評議員会から学校運営協議会(コミュニティースクール)へ～

これまで「学校評議員会」において、様々な立場の方から学校評価や学校運営についてご意見をいただきましたが、次年度からは「学校運営協議会(コミュニティースクール)」としてスタートします。特別支援学校は、地域の小学校や中学校と違い、広範囲から通学をしますが、「地域」をキーワードとしながら共生社会の推進と共に、地域の力をお借りしながら、学校力の底上げを図ってまいりたいと思えます。

地域の皆さま、保護者の皆さま、関係諸機関の皆さまと、より一層の連携を進めながらよりよい学校運営を進めていきたいと思えますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

校長 鈴木英資